

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 非専門医によるてんかん診療質向上のための診療支援 AI 基盤の創出

2. 個人研究者名

藤原 幸一（名古屋大学大学院工学研究科 准教授）

3. 事後評価結果

国内のてんかん患者約 100 万人に対して、専門医は数百名と圧倒的に不足している。非専門医のてんかん診療の質の向上を目指し、ウェアラブルセンサの開発を行った。発作を検知するとともに、症候群及び発作型の自動診断システムを構築した。

データ解析ソフトウェアを開発するだけでなく、モニタリングシステム、解析アプリなど、トータルシステムとして目的を達成したと認められる。また、神経症検知バイオマーカーの開発など、応用に向けた取り組みも本研究領域の趣旨に沿うと評価できる。

今後は臨床試験を通して知見を蓄積し、有効性の実証やアルゴリズムの改善を期待したい。てんかん以外の様々な疾患を検知できる医療 AI の創出を目指して、新型コロナウイルスの逆境を乗り越え引き続き研究を進めてほしい。